

タラヨウの葉っぱでネームプレートを作ろう

タラヨウの木の葉っぱに楊枝など硬いもので字が書けます。
これは葉っぱの細胞が死んで黒くなるために出来るものです。
昔はこれを使って文のやりとりをしたそうです。
葉書という言葉は葉に書くことからきたものです。
昔はこれに切手をはれば葉書として通用したとか。
今は葉書のサイズがきまっているので残念ながら出せません。
ネームプレートにして楽しみましょう。

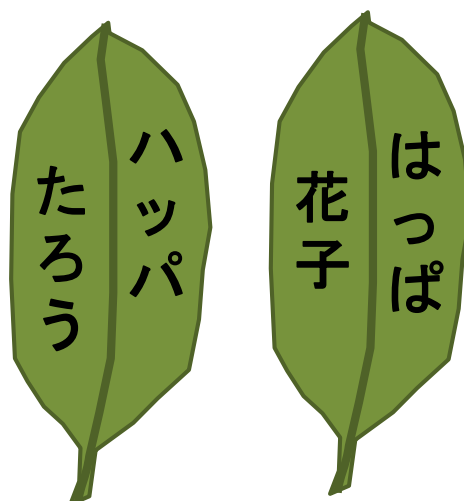
タラヨウの葉はツバキのように厚く光沢があり、葉の縁には小さな尖った鋸歯があります。
経文を書くのに使われたヤシ科のタラジュ(多羅樹)にあやかってタラヨウとしたようです。
葉も大きく文字が書けるので子どもの手習いにこの葉を使い、
手習いの木やはがきの木などと呼ばれ、現代のハガキ(葉書)の語源とも言われています。
タラヨウの葉に文字を書くことはすでに戦国時代(500年ほど前)には



タラヨウの木



タラヨウの葉



ネームプレートを葉っぱでつくってみよう!

キブシの実でお歯黒

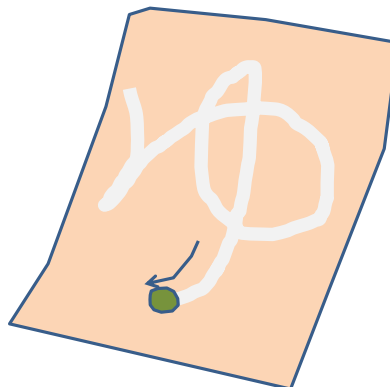
用意する物：キブシの実 紙 竹酢 ハケ ナイフ

手順

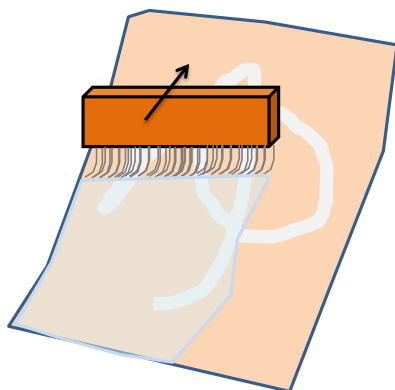
① キブシの実をナイフで半分に切る



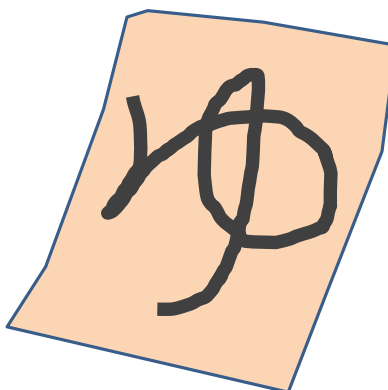
② 実の断面を紙に押し付けて字や画を描く



③ その上に竹酢をハケで塗る



④ しばらくすると書いた字が黒く浮き出てくる



考察：キブシの実にはタンニンが含まれていて、これが竹酢に酸化されて黒くなるもの。

昔はこれを利用して既婚の女性が歯を黒く塗っていたとか。

キブシは里山によくある落葉低木。早春に黄色の花を房状に咲かせます。

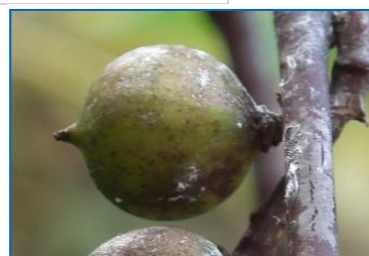
それは一見女性が髪に飾るカンザシのようになります。



キブシの木



キブシの実



果実の横断面。

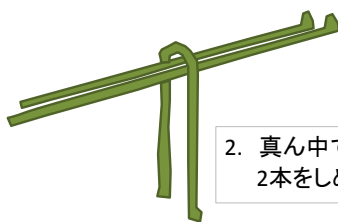


クズの茎でトンボ作り

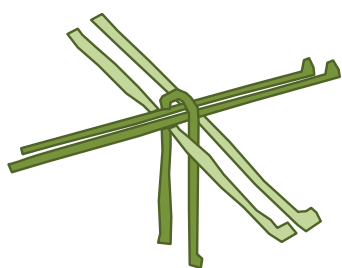
材料：クズの茎 6本



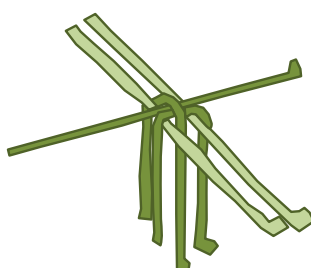
1. 長短のクズを並べる



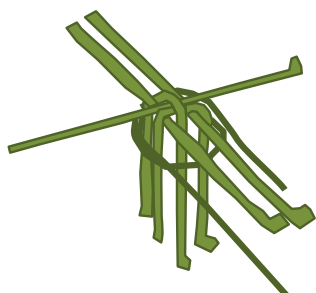
2. 真ん中で、脣を両側に曲げ、
2本をしめつける



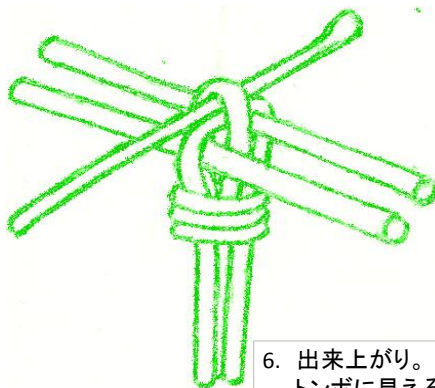
3. 下側に2本のクズを並べる



4. 最初のクズの長い方を
下におり曲げ、全体をしめつける



5. 曲げられたクズに
細いクズを巻き付けて固定



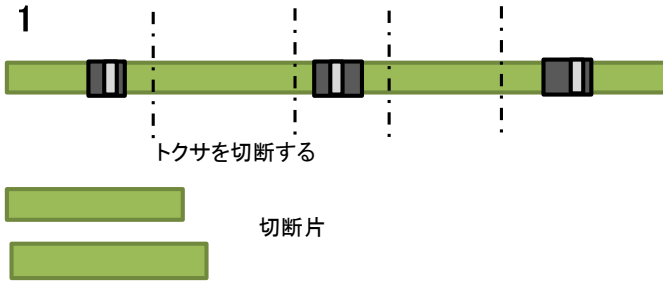
6. 出来上がり。
トンボに見えるように形を整える。

トクサの笛

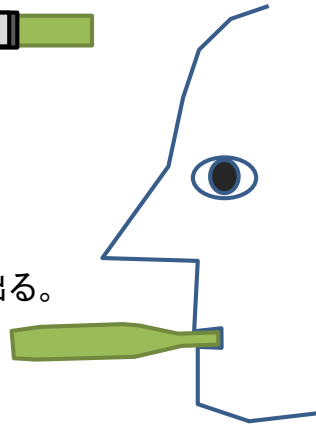


トクサ(砥草、木賊) シダ植物門トクサ科トクサ属の植物。
本州中部から北海道の山間湿地に自生。観賞用の栽培も多い。
表皮細胞の細胞壁にケイ酸が蓄積して硬い。
砥石のように茎で研げるので砥草と呼ばれる。
茎は直立中空で節がある。

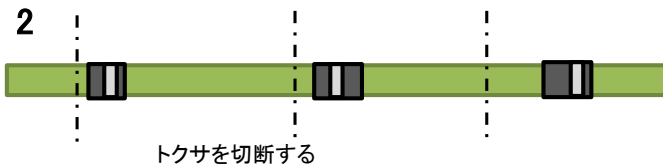
笛 1



切断片をくわえ、つぶして吹くと音が出る。



笛 2



息を細く吹き下ろすといい音が出る。
管が長い方が低い音が出ます。
フルートや尺八の音の出し方と同じです。

